



子どもたち 先生方の笑顔のために

壁面に掲示してご活用ください

共に歩まん

令和5年2月28日発行

第28号

中信教育事務所

ご意見はこちら→



←過去の「共に歩まん」はこちら

教材との出会い そこから生まれる問いや願い

令和4年度中信地区「2月研究推進講座」

2月9日(木)に「2月研究推進講座(研究主任会)」を参集で行いました。先生方同士で「探究的な学び」について考え合ったり、各校の研究の成果やこれからの課題について大いに語り合ったりし、次年度への展望をもたれていました。

探究的な学び

前半は「探究的な学び」について考え合いました。これは過去2回の講座と共通の話題です。各校での具体的な実践をお持ちいただき、情報交換したり、指導主事から各教科等での「探究的な学び」の授業実践例を紹介したりしました。「探究的な学び」を実践する上でのキーワード等について、語り合いながら理解を深める先生方の姿がありました。

＜参会の先生の感想＞

探究的な学びの入り口をどう工夫していくか、そこを次年度の課題の1つにしたいと思いました。教材との出会い、そこから生まれる問いや願いを大切にしたいです。子どもたちの疑問を大切にしたい授業をつくっていくことを学校全体で取り組んでいきます。



探究的な学びについて考え合う

生活科・総合的な学習の時間を足がかりに、探究的な学びをつくり出し、他教科等へも広げていくことができるとよいですね。

各校の今年度の取組

後半は「各校の研究の成果と課題」について語り合いました。特に「課題」についてグループで具体的な取組や考えを共有したり、アドバイスをし合ったりするなど、先生方が互いに「よき相談相手」となっている様子が見られました。自校の研究推進への気持ちをさらに強くされたことと思います。

＜参会の先生の感想＞

本校にも「生徒から生まれる問い」を大切にしたい授業づくりに取り組んでいる先生方がいます。その実践を広げることが研究主任として来年度に取り組みたいです。



研究推進の工夫と知恵を出し合う

校内で互いの実践を語り合う場を設けながら、先生方の挑戦する気持ちがさらに高まっていくとよいですね。

各校で先生方と共に1年間、研究を進めてきた研究主任の先生方。その先生方の“思い”や“熱量”を感じる時間でした。1年間、お疲れ様でした。「探究的な学び」の実践の積み重ねもうかがえました。互いの実践や取組から学び合い、子どもたちの資質・能力をさらに育むことにつなげていきましょう。

